



<本年度会長方針>

もっと知ってもらおう 我々の活動を

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日 12:30 例会場 名古屋東急ホテル
会長 田崎 雅三 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
幹事 丹下 富博 電話 (052)251-0181 FAX (052)251-0337 〒460-0008
URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org



第1538回例会

経済と地域社会の発展月間
/ 米山月間

平成27年10月8日(木)

於名古屋東急ホテル

出席計算数 57名

51名中42名出席

出席率 82・35%

前々回出席率 100%

例会プログラム

★奄美RC 福永様お土産

「がじゃ豆」の紹介

★R財団ホール・ハリス・フエロー

表彰状・バッチの進呈

★受入青少年交換学生挨拶

★誕生日のお祝い

★本日のメニュー紹介

★岩崎R財団・米山記念奨学委員会

・米山月間資料のご案内

ゲスト

愛知学院大学心身科学部

前学部長 大澤 俊彦さん

受入青少年交換学生

エドワード・ベンゴブスキー

ピクチャー

奄美RC 福永 健一さん

ニコボックス

名古屋大須RCの皆さんこんにちは。すっかすっか無沙汰しています。今年度もよろしくお願ひします。

奄美RC 福永 健一さん

結婚記念月です。 小野 定男

山口 正孝・岡村 隆徳

昨日妻の誕生日でした。お祝いあ

りがついでいきました。

近藤宏一郎

奥さんの誕生日です。ありがとうございます。

ごいいます。 岩崎 征一

結婚記念月です。この名古屋東急

ホテルで披露宴を行いました。

妻の誕生日です。 渡辺 観永

誕生日です。結婚記念月です。 小澤 幸男

尾上さん先日は大変お世話になり

ました。ありがとうございます。 佐藤 彰

岡村さん、先日はありがとうございます。

ありがとうございました。 杉浦 令淑

岡部さん、ありがとうございます。

ありがとうございました。 前田 隆久

お久しぶりです。 丹下 富博

本年度の海外戦没者慰霊法要は西

部二ユーギニアに決まりました。 青木 靖高

愛知学院大学心身科学部前学部長

大澤俊彦教授、卓話よろしくお願

い致します。 岡部 快圓

田崎 雅二・酒井 修

高木 政義・大上 晃延

卓話楽しみにしています。 尾上 昇

大澤先生よろしく。 大原 敏正

朝夕めっきの寒くなりました。風

邪をひかないように。小笠原和俊

堀江さんありがとうございます。

木村 光徳

堀江さん、先日は大変お世話にな

りました。 春日井和良

12×6＝72才になりました。

萩葉 賢一

堀江さんお世話になりました。

林 順治

会長挨拶

お休みやう、例会変更で久しぶ

りに名古屋東急ホテルでの例会で

す。今日は視聴率についてお話し

したいと思ひます。

1961年

A.C.ニールセンが

機械式調査を開始

1962年

ビデオ・リサーチが

同機械式調査を開始

2000年

A.C.ニールセンが日本の視聴

率調査から撤退してからは「テ

オ・リサーチ」が独占

視聴率は「世帯視聴率」と「個人

視聴率」の2つがあり、一般的に

使われる「視聴率」とは、この世帯

視聴率のことです。テレビ所有世帯

のうち、どのくらいの世帯がテレ

ビをつけていたかを示す割合です。

「個人視聴率」とは、世帯内の4

歳以上の家族全員の中で、誰かと

れくらいテレビを視聴したかを示

す割合で、視聴者を、性別・年齢別

などに分けて調べます。現代では

一家にテレビ台という方が珍し

く、複数テレビを所有しているの

が普通です。家によっては1人に

テレビ1台なんていうところもあ

るでしょう。そして、それぞれの

テレビで違う番組を見ているとい

うことも日常茶飯事です。

視聴率調査の方法として、PM

(ピーフルメータ)というシステム

による視聴率調査があります。こ

れは世帯視聴率と個人視聴率を同

時に調査する方法で、東京・名古

屋・大阪の各600世帯で実施し

ています。ちなみに、名古屋放送

局4局(テレビ愛知以外)の視聴可

能世帯数は約420万世帯となっ

ています。PMシステムによって

調査している関東、関西、名古屋の

3地区は2年間、それ以外の地区

は3年間ですべての世帯が入れ替

わるようになっていきます。

前述以外の地区はオンラインメ

ータシステムによる世帯視聴率調

査を200世帯で実施しています。

現在、録画再生率(タイムシフト視

聴率)と言われる課題があります。

大容量録画機器や、携帯電話等

で見られるワンセグが普及し、番組

のネット配信も拡大したため、録

りためたドラマを週末にまとめて見

するスタイルも一般化しました。

これらの視聴は、視聴率調査には

入っていないのが現実です。

卓話

「健康長寿と機能性食品」

愛知学院大学心身科学部

前学部長 大澤俊彦さん

1. 健康長寿と抗酸化食品

超高齢化社会を迎え、今、特に求
められているのは、生活習慣病や
認知症の発症を予防する二次予防

なかでも、バランスのとれた健全な食生活である。しかしながら「健康長寿」の実現のためには、バランスのとれた栄養だけでは不十分で、「非栄養素」、特に酸化化フードファクターをバランスよく摂取する「攻めの栄養素」の必要である。

例えば、植物界には生体内において女性ホルモン様活性を示すものが存在しており、それらはフィト(植物)エストロゲンとよばれ、特に、イソフラボノイドに関しては日本のみならず欧米諸国で精力的に研究が進められている。なかでも、ダイズイソフラボノイドからエウオールへの代謝は腸内細菌により行われるため個人差があり、従来は日本人の50%以上が変換能を有していると推定されていたが、最近の研究では、日本人でも若年層では変換能が低く、ダイズイソフラボンの機能を活かせていないといわれてきた。われわれは、

エウオールに特異的なモノクローナル抗体を搭載したイムノクロマト法を確立し、数万人規模で調査を行ったところ、エウオール変換能を持った腸内細菌を有する日本



人は激減していることが判明した。最近、エウオール生産能を持つ腸内細菌を利用した発酵大豆製品が開発されているが、微生物は古来より醸造や発酵食品といった食品加工に広く利用されており、その多彩な作用により、原料にはみられない甘味や風味成分が付与されたり、栄養価が増大したりすることが知られている。われわれは、微生物を利用した新しい酸化化機能食品の開発をめざし、クモノスカビを利用したテンペのような発酵大豆食品をはじめ、発酵レモン果皮の開発やアスタキサンチン、赤ワインなどのような広い意味での発酵作用によって生産される酸化化食品にも着目し、これらの酸化化フードファクターが最終的にはヒト臨床へ応用できるような次世代の酸化化食品として期待できるものと考えている。

2. 酸化化機能評価法の開発

多種多様な酸化化機能食品成分が明らかにされてきているが、われわれの研究グループが中心となつて、疾患予防バイオマーカーや酸化ストレスバイオマーカーに特異的なモノクローナル抗体を搭載した「抗体チップ」を作製し、科学的根拠を持つ生体内酸化化食品評価システムの確立を目指した研究を進めてきたが、最近、(株)浜松トニクス研究所の敷村公子専任部長らとの共同研究により、多くの

生活習慣病や認知症の発症に関わる炎症反応に重要な役割を果たす好中球免疫過剰応答で生じる酸化ストレスを測定するプロシエクトがスタートした。酸化化食品を摂取前後で採取された微量の末梢血を用い、蛍光化学発光同時測定装置で測定することで、酸化化食品の生体内酸化化機能を評価しようとするものである。このプロシエクトは、平成26年度「戦略的イノベーション創造プログラム」(次世代農林水産業創造プログラム)に採択されているので、ヒト臨床系における酸化化食品の評価研究が一層進展するものと期待されている。

3. 酸化化食品のヒト臨床への応用

酸化化食品研究の一例として進めている「カカオポリフェノールの酸化化機能評価のヒト臨床研究を紹介してみたい。我々の研究グループは、チヨコレート・ココアに機能性成分であるカカオポリフェノールの持つ動脈硬化予防作用を中心に、糖尿病や白内障などの予防さらには、がん予防作用を、細胞レベルから動物レベルまでの多種多様な機能性を発表し、また、論文での報告も進めてきた。一方、大規模なヒト臨床研究は欧米が中心の研究であり、今まで日本人を対象にした大規模な臨床研究もなかった。そこで、(株)明治と浦都市

民病院、愛知学院大学との産官学共同研究を立ち上げ、アジア系

の人種に限ってチヨコレート大規模調査を行った。研究内容は、カカオポリフェノールの取り過ぎを避けるため、72%カカオポリフェノール含有チヨコレートを選び、1日25グラムを4週間、347人の一般市民に摂取してもらった。その結果、正常血圧の人に比べ高血圧の人の血圧は大きく下がったにもかかわらず、同時に調査した体重とBMIに影響は出ず、HDLコレステロール値の上昇がみられた。さらに、記憶、学習といった認知機能と関連性が報告されているBDNF(脳由来神経栄養因子)が有意に上昇することがわかった。BDNFは、ニューロンの産生や神経突起の伸長促進、神経伝達物質の合成促進などに関与し、運動や脳活ゲームなどでは、BDNFが上昇し、認知症の予防にも関係すると考えられている。サプリメントの機能評価だけではなく、今後、日常食品や機能性農産物のような「機能性表示食品」の開発における酸化化食品研究の重要性は増大するものと期待されているので、本講演では、これらの最新の話題も含めて紹介してみたいと考えている。

R 財団ポール・ハリス・フェロー

表彰状・バッジの進呈

・PHF1回目 青木 靖高

PG岡部快圓さんより、表彰状とバッジが手渡されました。



受入青少年交換学生挨拶
エドワード・ベンコラスキー



(次号以降に掲載致します。)

10月22日(木)例会の案内

卓話

「リビング・ウィル」

愛知県がんセンター

名誉総長 大野 竜三さん

紹介者 吉田 隆彦さん

広報委員会

前田 隆久
大澤 伸悟・杉浦 令淑

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。